

## 読書推進活動へ向けた取り組み

### 1 学校の概要

① 所在地

福島県耶麻郡猪苗代町字窪南3664

② 学級数・生徒数

3学級・59人（令和4年5月1日現在）

③ 学校図書館の蔵書数

23,243冊（令和4年5月1日現在）

### 2 取組内容

① 各種コーナーの設置

◎推薦図書コーナー（常設）

季節や環境に合わせた図書を展示し、生徒の関心が高まるようテーマを毎月更新して行っている。朝読書の時間によく利用されていて、良いPRの場となっている。

◎進路に関する図書コーナー（常設）

就職・進学別に配架。学級文庫（毎月更新）にも数冊取り入れ、一助となるよう努めている。また、新鮮な情報収集ができるよう、生徒の進路に副った新聞記事の提供も行っている。

◎東日本大震災関連本コーナー（常設）

地震や原発に関する資料を置いている。足を止めて読まれることが多く入口付近に設置している。

◎探究学習関連本コーナー（常設）

参考図書、収集資料を置いている。東日本大震災関連本コーナーと併せて入口付近に設置している。担当教員と連携し、探究学習が行われている「観光実践室」にも貸出展示を行っている。

◎国語科教科書掲載本コーナー（常設）

国語科関連本がとても少ない状況だったので、国語科教員と連携し大量補充を行った。教科書では、一部抜粋がほとんどの為、全体象を知らないまま授業を終えてしまう。図書館で所蔵することにより「深い学び」「能動的な学び」を促進している。

◎映像化本コーナー（常設）

最新の映像化本や生徒に人気の映像化本を優先して並べている。小説に抵抗のある生徒への足掛かりとしても活用している。

## ② 読書週間の定着を図る取り組み

◎「朝読書」を朝の10分間行っている。また、図書館での朝読書をクラス単位で行うことにより、より多くの図書に触れる機会ができ、図書を通したコミュニケーションが生まれている。

## ③ 読書活動の質の向上へ向けた取り組み

「校内読書感想文」を国語科で行っており、それに向けたオススメ本を「推薦図書コーナー」で展示。また、生徒の読書相談にも個々に対応している。

## ④ その他の取り組み

「図書委員会からの情報発信を増やす」を目標に掲げ、委員による活動活性化を図っている。今年度の活動として、「猪苗代町図書館との連携」「生徒主体の図書館だより発行」を行った。

### ◎猪苗代町図書館との連携

図書館利用の問題として、「4階の端という場所が悪いのではないか？」という意見から、生徒昇降口前の空き教室を活用して「出張図書館」を行う案が出た。その目玉として、「本校で所蔵していない図書を猪苗代町図書館からお借りして貸出を行ってはどうか？」との発案により、猪苗代町図書館に相談し快諾していただくことで実現した。図書の選定も生徒が行うことにより、生徒目線の出張図書館ができた。来館者数、貸出冊数ともに普段の倍以上で大成功となった。

### ◎生徒主体の図書館だより発行

図書館だよりの「記事」「見出し」「構成」など生徒自身が考えて作成することにより、生徒に読んでもらえる図書館だよりを目指した。特に、「オススメ本」では、生徒自身の言葉で紹介文を作成することにこだわり貸出につながった。

## ⑤ 図書の分類・配架の整頓

「探しやすい図書館」を目標に分類・配列を見直し、夏休み期間に一斉配列直しを行った。これにより、生徒自身が図書を探すことができるようになり、学校司書自身もレファレンス対応できる環境になった。また、各種コーナー設置により、充実した学校図書館ができあがった。

